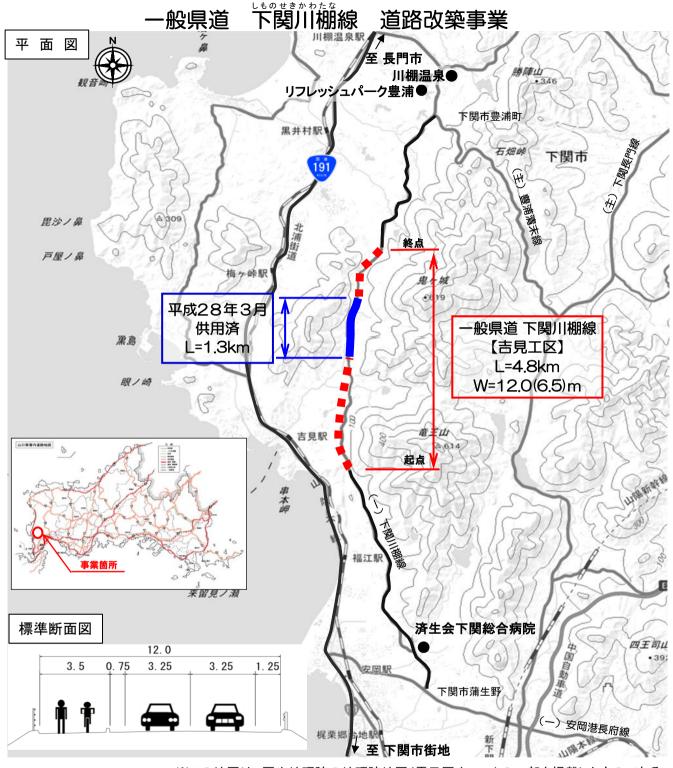
再評価項目調書

	再記	平価実施要件	○ 事業採択後(年) ● 再評価後(5年) ○ その他()									
		事 業 名	- 般県道下関川棚線 道路改築事業									
		事 業 場 所	下関市告負									
		事 業 主 体	山口県									
		事業期間	《前回評価 令和 2 年 時 》 平成 13 年度 ~ 令和 14 年度 《令和 9 年度》 (西暦 2001 年度 ~ 西暦 2032 年度 《西暦 2027 年度》)									
		総事業費(内用地補償費)	≪ 4,310 百万円≫5,200 百万円 既投資額 3,923 百万円 進捗率 75 %(717 百万円) (内用地補償費) (660 百万円) (用地補償費) (92 %)									
1 事 業 概 要		事業目的	一般県道下関川棚線は、下関市蒲生野を起点とし、下関市豊浦町に至る幹線道路であるとともに下関市街地と観光地である川棚温泉を結び、二次救急医療機関である済生会下関総合病院へのアクセス道路となる重要な道路である。 しかしながら、当該区間は、道路幅員が狭く大型車のすれ違いが困難であり、勾配がきつく、急なカーブにより、見通しが悪い箇所があるなど、安全で円滑な交通に支障をきたしている。 このため、当該区間のバイパス整備を行うことにより、安全で円滑な交通を確保するとともに、下関市中心部と下関市豊浦地区との連絡を強化し、地域住民の利便性の向上や安心・安全の確保、地域の活性化を図るものである。									
		事業内容	〇延長 L=4.8km(バイパス整備) 〇幅員 全幅12.0m (車道3.25m×2=6.5m、自転車歩行者道3.5m(片側)) 〇道路区分 第3種第2級 〇計画交通量 6,800台/日									
		事業効果	 ○下関市街地と下関市豊浦地区との移動時間が短縮されるとともに、定時性や安定した走行が確保されることから、以下の効果がある。 ・新下関駅〜川棚温泉 約25分→約23分 ・二次救急医療機関(済生会下関総合病院)への搬送時間短縮や安静搬送により、救命率の向上に寄与する。 ○地域間の交流が促進される。 ○線形不良箇所等の解消により、円滑な交通が確保される。 ○自転車歩行者道の整備により、歩行者や自転車利用者の通行の安全を確保できる。 ○並行する国道191号の代替路としての機能が向上する。 									
2再評価の視点	(1)社会経済情勢の変化	社会経済情勢 の変化に伴う 必要性の変化	当該路線は、二次救急医療機関である済生会下関総合病院や、川棚温泉等の観光地へのアクセスルートとなっている。また、下関市が令和4年3月に「豊浦地域【川棚温泉エリア】再生ビジョン」を策定し、観光振興等の地域再生に向けた施策を展開するなど、地域の活性化が図られており、当該路線の整備の必要性は依然として高い。									
		関係市町及び 地 元 の 意 向	当該道路は、「第3次下関市総合計画(令和7年から令和16年)」に整備を促進する道路として位置付けられているとともに、毎年、地元自治体である下関市から早期整備の要望がある。地元住民は概ね事業に協力的であり、事業推進にあたっても協力体制が整っている。									

				(単位:百万円) •												
				区分	主な項目	前 回 (基準年: R2)	今 回(再評価 (基準年	・再々評価)	備考]	大項目 評 価					
		費用対効果 分析等				全体事業	全体事業	残事業			01 100					
					①走行時間短縮便益	6,500	8,739	5,962								
	(2)事業の投			便益	②走行経費減少便益	506	471	206		_						
				(B)	③交通事故減少便益	36	98	89		4						
			-		④その他の便益総便益	7,042	9,308	6,257		1						
					①事業費	4,945	7,071	998		1						
				井田	②維持管理費	309	412	248		1						
				(C)	③その他					1	(A)					
					総費用	5,254	7,483	1,246		1	B					
	資			費用例	更益比(B/C)	1.3	1.2	5.0]	•					
	効		7 ## m ++++ #			は、算出した各年	次の値を割引率を用	いて現在価値に換算	した合計額	Į.	С					
	果		【費用対効果	分析	于法】											
			前回評価時: 「費用便益分析マニュアル」(H30.2) 基準年:R 2													
			平成22年道路交通センサスベース 平成42年将来交通量													
			今回評	価時				(R7.8)		年:R7						
					平成乙	/年退路父贞	世センサスへ	ース 令和2	(2年将:	米父週重						
2																
再評			中茶口	問1	Qlmna>	ち 级占側	1 2レ〜▽門	についてけ	ᄱᆄᄼ	Q年2日に並	大項目					
評				事業区間4.8kmのうち、終点側1.3km区間については、平成28年3月に部												
価の									,整備を	が進めており.	A					
視			残る区間については、施工中の1.5km区間の供用を目指し整備を進めており、 (A) 今後計画的な事業進捗が見込まれることから、引き続きバイパス整備を進める。 В													
点											· c					
7111	3	事業の進捗と 今後の見通し														
	\mathcal{L}		「東業事の亦化」(方) 無													
	事		【事業費の変化】 (有) 無													
	業		・ 梅圧 L目笠に似い。 光致事。 沖部次付妻がぬした。 たっしかっ。 本郷尹ナ赤玉ナマ													
	の		・物価上昇等に伴い、労務費、建設資材費が増となったことから、事業費を変更する。 ・路床材を他工事の流用土から購入土に変更したことから、事業費を変更する。													
	進		・路床材を他工事の流用土から購入土に変更したことから、事業費を変更する。													
	捗															
			【事業期間の変化】 (有) 無													
			• 用地補	償の	遅延により	、事業期間	を延伸する。									
							・用地補償の遅延により、事業期間を延伸する。									
	(
	4									本语 见	+150					
			切土工	• 盛		にあたって	は、発生士 <i>0</i>	D現場内利用 ¹	ゆ他の公		大項目 証 価					
	一代	コスト縮減					は、発生土 <i>0</i> 縮減を図る。	D現場内利用 ⁴	や他の公	公共事 評 価	評価					
	□替	コスト縮減							や他の公		評価					
	コ替 ス案	コスト縮減							や他の公	公共事 ②・b	(本)					
	コ替 ス実 ト等	コスト縮減	業と土砂	流用	を行うこと	で事業費の	縮減を図る。			公共事 評 価 ②・b 中項目	評 価 A B					
	コスト縮減替案等の可	コスト縮減 代替案	業と土砂	流用 、経	を行うこと 済性、施工	で事業費の 	縮減を図る。			会共事 評価 ②・b 中項目 評価	評 価 A B					
	コスト縮減替案等の可能		業と土砂	流用 、経	を行うこと 済性、施工	で事業費の 	縮減を図る。			公共事 評 価 ②・b 中項目	評 価 A B					
	コスト縮減替案等の可		業と土砂	流用 、経	を行うこと 済性、施工	で事業費の 	縮減を図る。			会共事 評価 ②・b 中項目 評価	評 価 A B					
	コスト縮減替案等の可能性		業と土砂 利便性 るため、	流用、経計画	を行うこと 済性、施工 どおり進め	で事業費の性を総合的ることが妥	縮減を図る。 に勘案し、晶 当と考える。	 漫適なルート [:]		会共事 評価 ②・b 中項目 評価	評 価 A B					
	コスト縮減 3	代 替 案	業と土砂利便性るため、・埋蔵	流用 、計 文化	を行うこと 済性、施工 どおり進め 財調査を実	性を総合的ることが妥	縮減を図る。 に勘案し、最当と考える。 跡等を記録(長適なルート [;] 呆存した。	を選定し	記共事評価②・b中項目評価③・b	評 価 A B					
	コスト縮減 3		業と土砂 利便性 るため、 ・埋蔵 ・施工	流 、計 文中 文中	を行うこと 済性、施工 がおり進め 財調査を実と	で事業費の 性を総合的ることが妥 たんし、 沈砂	縮減を図る。 に勘案し、量 当と考える。 跡等を記録ほ 池や濁水処理	長適なルート [;]	を選定し	三 (本)二 (本)<	評価 A B C					
	コスト縮減替案等の可能性	代 替 案	業と土砂 利便性 るため、 ・埋蔵 ・施工	流 、計 文中振 といる。	を行うこと 済性いり 財調が表とし 財調が策とし	で事業費の 性を総合的ることが妥 たんし、 沈砂	縮減を図る。 に勘案し、量 当と考える。 跡等を記録ほ 池や濁水処理	長適なルート [;]	を選定し	記共事評価②・b中項目評価③・b	評価 A B C					
	コスト縮減 3	代 替 案	業と土砂 利便性 るため、 ・埋蔵工 ・騒工音	流 、計 文中振 といる。	を行うこと 済性いり 財調が表とし 財調が策とし	で事業費の 性を総合的ることが妥 たんし、 沈砂	縮減を図る。 に勘案し、量 当と考える。 跡等を記録ほ 池や濁水処理	長適なルート [;]	を選定し	三 (本)二 (本)<	評価 A B C					
	コスト縮減 3	代 替 案	業と土砂 利便性 るため、 ・埋蔵工 ・騒工音	流 、計 文中振 といる。	を行うことを持たいのでは、のでは、のでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のでは、のでは、	で事業費の性を総合的ることが妥施し、生活砂して、、、次語、して、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	縮減を図る。 に勘案し、量 当と考える。 跡等を記録ほ 池や濁水処理	長適なルート [;]	を選定し	三 (本)二 (本)<	評価 A B C					
	コスト縮減 3環境 (事	代 替 案 配慮事項	業と土砂 利便性 るため、 ・埋蔵工 ・騒工音	流 、計 文中振を 化の動行	を行うことを持たいのでは、のでは、のでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のでは、のでは、	で事業費の性を総合的ることが妥施し、生活砂して、、、次語、して、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	縮減を図る。 に勘案し、最 いち考える。 跡等を記外の板 池板振動型の板	表 最 最 最 ま で し に の に に に に に に に に に に に に に	を選定し	三 (本)二 (本)<	評価 A B C					
	コスト縮減 3環境 (事業替案等の可能性)	代 替 案 配慮事項	業と土砂 利便性 るため、 ・埋蔵工 ・騒工音	流 、計 文中振を 化の動行	を行うことを持たいのでは、のでは、のでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のでは、のでは、	で事業費の性を総合的ることが妥施し、生活砂して、、、次語、して、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	縮減を図る。 に勘案し、最 いち考える。 跡等を記外の板 池板振動型の板	表 最 最 最 ま で し に の に に に に に に に に に に に に に	を選定し	三 (本)二 (本)<	評価 A B C					
4	コスト縮減 3環境 (事業替案等の可能性)	代替案配慮事項総合評価	業と土砂 利便性 るため、 ・埋施騒工 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	流 、計 文中振を 継 1	を行うこと 済ど 財調水策 財濁対う。 続	で事業費の性を総合的妥集をとが多い。大学を表して、大学を表して、大学を表して、大学を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、	縮減を図る。 に勘案し、最 当と考える。 跡等を記録の 地や濁水処理 低振動型の板	最適なルート ^注 R存した。 理フィルター ² 機械を使用し、 ○ 中止	を選定し 等を設置 周辺の	京共事 評 価 (a・b) 中項目 価 (a・b) でする。 の住環境に配慮した	評価 A B C					
4 対	コスト縮減 3環境 (事業実施替案等の可能性)	代 替 案 配慮事項	業と土砂 利便性 るため、 ・埋施騒工 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	流 、計 文中振を 継 1	を行うこと 済ど 財調水策 財濁対う。 続	で事業費の性を総合的妥集をとが多い。大学を表して、大学を表して、大学を表して、大学を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、	縮減を図る。 に勘案し、最 当と考える。 跡等を記録の 地や濁水処理 低振動型の板	表 最 最 最 ま で し に の に に に に に に に に に に に に に	を選定し 等を設置 周辺の	京共事 評 価 (a・b) 中項目 価 (a・b) でする。 の住環境に配慮した	評価 A B C					
4 対応方	コスト縮減 3環境 (事業実施替案等の可能性)	代替案配慮事項総合評価	業と土砂 利便性 るため、 ・埋施騒工 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	流 、計 文中振を 継 1	を行うこと 済ど 財調水策 財濁対う。 続	で事業費の性を総合的妥集をとが多い。大学を表して、大学を表して、大学を表して、大学を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、	縮減を図る。 に勘案し、最 当と考える。 跡等を記録の 地や濁水処理 低振動型の板	最適なルート ^注 R存した。 理フィルター ² 機械を使用し、 ○ 中止	を選定し 等を設置 周辺の	京共事 評 価 (a・b) 中項目 価 (a・b) でする。 の住環境に配慮した	評価 A B C					
4	コスト縮減 3環境 (事業実施主体替案等の可能性)	代替案配。合理四	業と土砂 利便性 るため、 ・埋施騒工 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	流 、計 文中振を 継 1	を行うこと 済ど 財調水策 財濁対う。 続	で事業費の性を総合的妥集をとが多い。大学を表して、大学を表して、大学を表して、大学を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、	縮減を図る。 に勘案し、最 当と考える。 跡等を記録の 地や濁水処理 低振動型の板	最適なルート ^注 R存した。 理フィルター ² 機械を使用し、 ○ 中止	を選定し 等を設置 周辺の	京共事 評 価 (a・b) 中項目 価 (a・b) でする。 の住環境に配慮した	評価 A B C					
4 対応方	コスト縮減 3環境 (事業実施替案等の可能性)	代替案配慮事項総合評価	業と土砂 利便性 るため、 ・埋施騒工 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	流 、計 文中振を 継 1	を行うこと 済ど 財調水策 財濁対う。 続	で事業費の性を総合的妥集をとが多い。大学を表して、大学を表して、大学を表して、大学を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、任政を表して、	縮減を図る。 に勘案し、最 当と考える。 跡等を記録の 地や濁水処理 低振動型の板	最適なルート ^注 R存した。 理フィルター ² 機械を使用し、 ○ 中止	を選定し 等を設置 周辺の	京共事 評 価 (a・b) 中項目 価 (a・b) でする。 の住環境に配慮した	評価 A B C					



※この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。



